

「愛知工業大学研究報告」投稿規程

1. 名称

「愛知工業大学研究報告」の英語名称は、「Bulletin of Aichi Institute of Technology」とする。

2. 投稿資格

投稿が可能な者は、次に掲げる者とする。

- 1) 愛知工業大学（以下「本学」という）に在籍中の又は在籍したことがある教職員（非常勤を含む）
- 2) 本学に在籍する学部生、大学院生ならびに卒業生
- 3) その他紀要委員会が認めた者

ただし、2)と3)に該当する者が投稿する場合は、本学に在籍中の教職員が共著者になるものとする。また、共著の場合の筆頭著者は、投稿資格がある者であれば、所属及び学部生・大学院生・卒業生などの条件は問わない。

3. 投稿内容

- 1) 論文は「愛知工業大学研究倫理指針」を遵守したものでなければならない。
- 2) 論文は他誌等に未掲載のものでなければならない。なお、他で審査中あるいは掲載予定になっているものも投稿を認めない。
- 3) 論文の種別は イ. 査読付き論文、ロ. 査読なし論文、ハ. 研究ノート（速報的なもの）とし、公開時には種別がわかるように掲載する。

4. 原稿提出

- 1) 投稿者は、投稿原稿の他必要な提出物を電子メールで紀要委員会に提出すること。
- 2) 投稿者は、査読を希望する場合、希望しない場合ともに定められた提出締切を遵守すること。
- 3) 投稿規程によらない投稿原稿は受理しない。なお、論文の内容については、著者の責任において投稿すること。

5. 査読付き論文及び査読なし論文採否の連絡

- 1) 論文採否については紀要委員会の審議を経て、紀要委員会事務局から投稿者へ連絡する。

6. 原稿作成要領

1) 書式について

別添「愛知工業大学紀要原稿の書き方」に従い、A4判に原則として横書き、2段組に仕上げる。但し、学問分野の特殊性により、横2段にわたり1行書きとなるもの、或いは縦書きの原稿も認める。手書き原稿は認めない。

文字サイズ、間隔等は次のように設定すること。

日本語原稿 文字種：明朝体

フォントサイズ：9ポイント。但し、表題は15ポイント、著者名は10ポイントとすること。

片段の文字数：25字

行数：50行(Running Header を含む)
上端マージン：16mm(Running Header までのマージン)
下端マージン：21mm
左右マージン：それぞれ20mm
段間隔：10mmまたは3文字分とする。

欧文原稿

文字種：Times New Roman
フォントサイズ：10ポイント。但し、表題は12ポイント、著者名は10.5ポイントとする。
その他マージン、行数等については日本語原稿の寸法に準ずる。

以上の設定が困難な場合には可能な限り上記に近い値に設定すること。

2) 論文の長さについて

イ. 査読付き論文、査読なし論文

図・表・写真等、参考文献を含めて12ページ以内とする。

ロ. ノート

図・表・写真等、参考文献を含めて4ページ以内とする。

以上のページ数を超える場合は、紀要委員長の承認を得ること。

3) 節、小節について

節、小節などの書式は図1の例による。節は左詰めとし、番号はアラビア数字のゴシック体とピリオド(下付き)に続けて表題とし、小節の見出しは中ボツ入りアラビア数字のゴシック体とし、行の第2字目から書き始めること。

なお、細節も小節の書き方に準ずる。

| ←第1欄
2. 実験結果と考察 ←ゴシック
|
□2・1□実験結果 ←ゴシック
|
□2・1・1□速度効果 ←ゴシック
|

図1 節・小節・細節の書式例

4) 図・表・写真について

イ. 図・表・写真の作成要領

図・表・写真は判読困難なものにならないように作成すること。特に図と表は十分な大きなフォントを使って作成すること。

ロ. 図・表・写真の題および説明

図・写真の題および説明は、図・写真の下に記入する。表の題および説明は、表の上に記入すること。

5) 参考文献について

イ. 文献は原則として引用順とし、論文の末尾に一括すること。文中の引用文献には末尾の文献番号に片括弧を付けて右肩に記すこと。

例. 田中²⁾によれば……………。

脚注は論文内容の補足説明が必要な場合に限る。

ロ. 文献の示し方はおよそ次のようにすること。

a) 定期刊行物の一部（論文）

著者名，論文名，刊行物名，巻数（号数），参照ページ，発行年の順

例1. 八草一郎，愛知太郎：地盤沈下における諸問題，施工技術，5(2)，23-28, 1971.

例2. E. McBean and W. Lennox, "Effect of survey size on student ratings of teaching," High. Educ., Vol. 14, No. 2, p. 117-125, Apr. 1985.

注： 原則として刊行物名の略称はそれぞれに決められているものを用い、号数は通巻頁のある場合は記さなくてよい。発行年は西暦を用いること。

b) 単行本の一部（章）

著者名 “章タイトル” 書籍名，参照ページ，出版社名，出版社所在地，出版年の順

例1. 木村一夫，中田正夫他 “大気環境” 環境工学， p. 115，朝倉書店，東京，1976.

例2. J. Neter, W. Wasserman and M. Kutner “ Applied linear statistical models ” regression analysis of variance and experimental designs, 2nd ed., p. 847, Homewood, IL: Irwin, 1985.

c) Web ページ・Web サイト

著者名，Web ページ・Web サイト名，出版年，URL（アクセス日）

例. 中央教育審議会，2024年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)(中教審第211号)，2018-11-26，https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1411360.htm（参照2024-12-23）

d) 新聞記事（紙媒体）

記事タイトル，新聞紙名，掲載年月日，朝刊/夕刊，該当ページ

例. 自動車業界の現状と今後の動向，東西新聞，2025-02-13，朝刊，P4

e) 新聞記事（Web版）

記事タイトル，新聞紙名，掲載年月日，Web サイト名，URL（アクセス日）

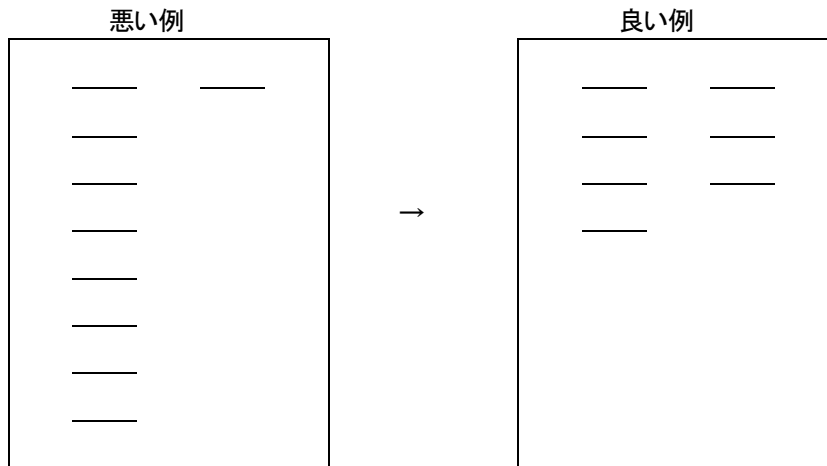
例. 生成AIが製造現場にもたらす改革，東西新聞，2025-02-14，東西デジタル，

6) 謝辞について

研究費の助成を受けた論文は、本文の末尾にその旨を明示すること。

7) 論文の最終ページについて

イ. 左右の記載にバランスをもたせること。



ロ. 最終ページ右欄の最終行には、受理日を記載する。受理日は論文採否の最終決定を行う
紀要委員会開催日とする。

7. 原稿の提出締切

- 1) 査読付き論文の提出締切は、毎年10月31日正午とする。但し、その日が本学の休業日もしくは土曜日の場合は、前日の同時刻とする。
- 2) 査読なし論文の提出締切は、毎年3月10日正午とする。但し、その日が本学の休業日もしくは土曜日の場合は、前日の同時刻とする。

8. 著作権の帰属

採録された論文の著作権は本学に帰属する。

9. 論文の公開

採録された論文は、「愛知工業大学学術情報リポジトリ」に公開する。

附則

この規程は、研究報告第62号(令和8年版)から適用する。